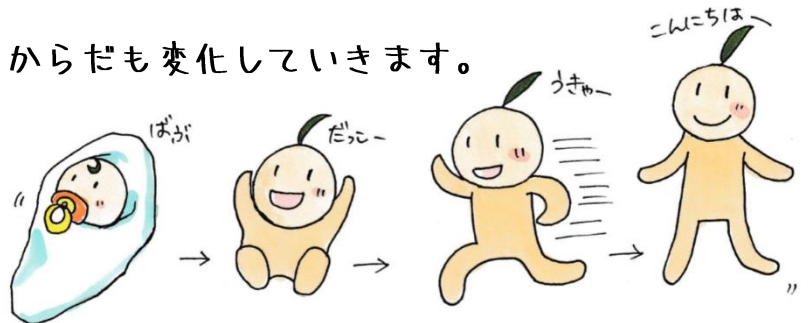


小児科受診について、受診時の注意。

「かかりつけ医」ありますか？

お子さんは成長と共に、こころ・からだも変化していきます。

日頃の健康管理も含め、
気軽に相談・受診できる様



おうちのちかくにかかりつけ医をつくりましょう。

*小児科って何歳から何歳まで？

基本的に生まれておうちに帰った後からは小児科受診になります。

高校生になると、内科での対応になります。

※慢性疾患で通院している方等は、継続して小児科対応させていただきます。

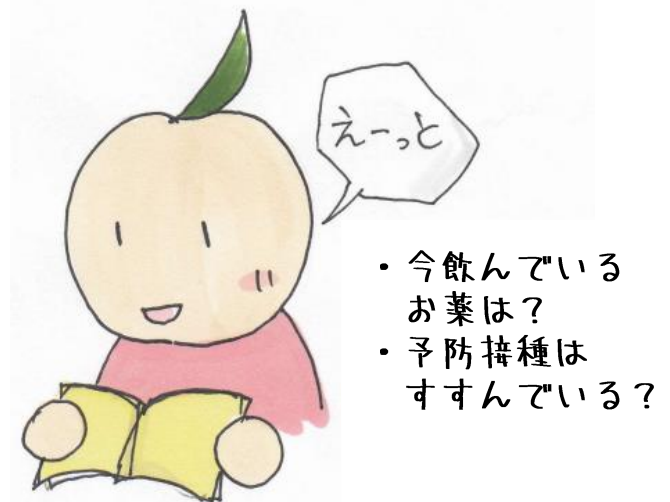
*受診時に持ってくるものは？

母子手帳・保険証・乳児医療証・診察券・おくすり手帳など

特に母子手帳・

おくすり手帳は

必須アイテム！



★あるとよいもの

小さいお子さんの場合、オムツ（計測の際交換します・診察で浣腸することもあり！）

吐いているお子さんの場合、着替え（突然嘔吐してお洋服が汚れることも！）

* 付き添いの方へ

お子さんの受診時に付き添う方は、特に小さいお子さんの場合、症状を代弁する大切な役割を持っています。できるだけ症状・経過がわかる方が付き添いましょう。

お仕事などで難しい場合もあると思いますので、その際にはメモ（※）など渡して症状を伝えてください。

※メモの内容・・・いつから どこが どのように具合が悪い
食欲 水分 熱 咳 鼻水 おしっこ うんちの様子など。

★写メを撮るとよいもの ・うんちの色が心配、血などがまざる
・ぶつぶつが出たり消えたりしている



※うんちの入ったオムツは感染の原因になりますので持参しないでください。

* 診察の前に

・診察前は食べ物を食べないようにしましょう。おくちの中にもものが入っていると、おのどがみれません。また、赤ちゃんの場合、授乳直後だと吐いてしまう場合があります。



・「もしもし」の準備：診察室に入ったら、お胸の音を聞いたり、おなかをさわったりします。

- ①抱っこひもから降ろす
 - ②ロンパースのボタンをはずす
 - ③上着を脱ぐ
- など、前もって準備をお願いします。



お子様の体調が早く良くなるよう、お手伝いさせていただきますので、以上の点、ご理解・ご協力をお願い致します。ご不明な点などありましたら、スタッフまでお声をおかけください。